



スノーヘルメット取扱説明書



このたびは、DICE スノーヘルメットをお買い上げいただきありがとうございます。
 本書には、DICE スノーヘルメットの正しい取り扱い方法について説明しています。
 このヘルメットを正しく使い、機能を充分いかしていただくため、ご使用前に必ず最後までお読みください。
 この説明書は、読み終わった後も大切に保管ください。万一紛失した場合は弊社もしくは販売店に請求してください。
 ヘルメットを正しくお使いになり、安全で快適なウィンタースポーツをお楽しみください。

保護者の皆様へ、お子様がご使用になる場合には、この説明書をよくお読みになり、お子様がご理解できるようにご説明ください。

絵表示について

この取扱説明書の絵表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

- ⚠ 警告：記載事項をお守りいただかないと、死亡または重傷や大きな事故を負う可能性のあることを示しています。
- ⚠ 注意：記載事項をお守りいただかないと、軽傷を負うか、ヘルメットが破損する可能性のあることを示しています。

- ⊘：してはいけない禁止行為を示しています。
- ①：守っていただくべき義務行為を示しています。

⚠ 警告

- ⊘ このヘルメットは、スノーボード・スキー専用で作られています。自動車、オートバイ、原動機付自転車、スノーモービル等エンジン付き乗車具での使用、またはその他の目的での使用はできません。
- ⊘ このヘルメットはスノーボード・スキーの滑走用（競技・練習用）であり、転倒して雪面や滑走面・障害物などに頭部を直接打撃した場合の頭部に伝わる衝撃を緩和するためのものです。そのため、あらゆる頭部障害の発生を防止するものではなく、また裂傷などの頭部外表面の外傷を防止するものではありません。
- ⊘ お子様はヘルメットを装着したままでゲレンデ内の遊具で遊ばないでください（遊具などに引っかかり、思わぬ危険を招く可能性があります）
- ⊘ 一度でも衝撃を受けたヘルメットを着用することは、ヘルメットの衝撃吸収能力が損なわれており、非常に危険です。
- ⊘ ヘルメット本体の分解・切削・加工などの改造、アウターシェルへのペイント加工、あごひもの取り外し、専用構造以外での外部端末や純正外パーツの取り付けはおやめください。これらはすべてヘルメットの本来の性能を損なうもので非常に危険です。
- ⊘ 他人のヘルメットは着用しないこと。使用状態がわからないヘルメットの使用は大変危険です。レンタル事業者は、製品状態に問題ないか必ず確認し、利用者に対して適切な指導と説明の上で貸し出しを行ってください。
- ⊘ ヘルメットの中にゴーグルストラップ、帽子、バンダナ、ヘッドフォンなどは着用しないこと。ヘルメットのズレや脱落の原因になりますので、絶対にやめてください。
- ⊘ ヘルメットを着用したからという理由から技術以上の不必要な危険行為はおやめください。ヘルメットの着用は安全を保証するものではありません。万一の際の危険度合を軽減させる安全用具の一つです。自らの危険行為は絶対にやめてください。
- ① ご使用前には、必ずヘルメットを点検してください。老朽化が顕著な場合や、帽体や内装・ストラップに亀裂、破損など明らかに傷んでいる場合は、ご使用にならないでください。
- ① このヘルメットは、あらゆる状況の事故から頭部を完全に保護するものではありません。安全を高め、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つです。またヘルメットを正しく扱わないと、せっかくの機能も発揮できなくなり事故の場合に被害を大きくする恐れがあります。
- ① ヘルメットはこれによって覆われている部分のみを保護するものです。顔、首部を保護するものではありません。このヘルメットは EPS フォーム（発泡スチロール）から作られているため、先端が鋭利な物は貫通する場合があります。
- ① 本ヘルメットはインナーライナー（内帽体）の部分的破損によって衝撃を吸収するように作られています。この損傷は外見からは確認できない場合があります。一度でも強い衝撃を受けたヘルメットは、損傷がなくても、絶対に使用しないでください。ヘルメットを着用しても事故を未然に防ぐことはできません。衝撃の種類によっては、非常に低速度における衝撃でも頭部に重傷を負う場合があります。

⚠ 注意：必ず守ってください

- ① 頭によく合うヘルメットを正しく装着してください。
- ① 用途及び使用年齢範囲にあったヘルメットを着用してください。
- ① ストラップ（あごひも）は正しく締めてください。
- ① 使用するときはサイズ調整をして使用してください。
- ① ヘルメットは正しくかぶり、あみだにかぶらないでください。
- ① ヘルメットの状態を日常点検してください。
- ① 滑走するときは注意と正しい判断ができるように心がけてください。
- ① ゲレンデ内のルールを守り、事故のないように気をつけましょう。

⚠ 注意：お取扱いについて

- ① ヘルメットは丁寧に扱い、落としたり物にぶつけたりしないでください。
- ① ヘルメットは通常使用や移動、保管時の小さな衝撃も吸収しています。そのため、ヘルメットの衝撃吸収能力が有効に機能する期間はご購入から3年を目安にお考えください。なお、ご使用の頻度が高い場合は劣化も早いので、2年程度での買い替えをお奨めします。また、表面または内部に明らかな劣化が認められた場合は、直ちに新しいものにお買い替えください。

⚠ 保管・お手入れ方法

- ① 高温（40℃以上）の場所ではヘルメットが熱により変形する場合があります。炎天下での自動車の中や直射日光のもとへの長期間の放置、直接間接を問わず、熱い物（暖房器具など）の近くでの保管、放置はやめてください。
- ⊘ ヘルメットの汚れは、中性洗剤を水またはぬるま湯で薄めたものを、柔らかい布やスポンジなどに含ませて落としてください。40℃以上のお湯やガソリン、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤や化学薬品などの使用はヘルメットの材質を傷め性能が低下する可能性がありますので、絶対にやめてください。

ヘルメットの基本構造と効用

本ヘルメットは耐久性のあるアウターシェル（外側のプラスチック部）と衝撃吸収の役目をするインナーライナー（内帽体）の二つの部分からできています。アウターシェルの表面は固く、日常使用における衝撃から内帽体を守ります。内帽体はそれ自体がへこんだり、壊れることによって衝撃を吸収し頭部を保護するものです。本ヘルメットの内帽体には、衝撃吸収力の高い材質である EPS フォーム（発泡スチロール）を使用しています。EPS 帽体が衝撃を吸収し、ヘルメット自体が壊れることで頭部を守る大きな役割もっています。

ヘルメットの正しい着用方法

ご使用前に必ず試着をしてください。お買い上げいただいた本ヘルメットを安全に正しく、快適にご利用いただくために、以下の調節を行ってください。

ストラップ（あごひも）の調整方法

ヘルメットはストラップを使用することで安定した着用ができます。ストラップが正しく調節されていないと正しい位置でかぶり続けることはできません。

- ① ヘルメットの前後が同じ高さになるように水平にかぶります（図1）。前が低すぎると視界が悪くなり、また高すぎると斜めかぶりになり、前頭部の保護になりません（図2）。
- ② 左右のストラップの長さを同じにそろえ、前後のストラップをまとめているストラップガイドの位置を耳のすぐ下になるように調節します（図3）。
- ③ ストラップの端はゴムリングに通してまとめます。
- ④ あご下でバックルを留め、ヘルメットがピッタリするまでストラップを締めます。ストラップの長さは、ストラップ内側に指2本入る程度が一般的な目安です。ストラップが適切に調節されていないと、ヘルメットがズれます。その場合は調節を再度おこなってください。これらの調節で合わない場合は、そのヘルメットは使用しないでください。サイズが合っていない可能性があります。



お問い合わせ先

山本光学株式会社 スポーツ第一事業部
 大阪 / 〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3-25-8 TEL.06-6783-1103
 東京 / 〒113-0034 東京都文京区湯島2-1-13 TEL.03-3834-1878
 URL <http://dice.jp/>

Made in CHINA